

2008年7月1日

アルフレッサ ホールディングス株式会社
東レ株式会社

「P-U セルサイトポート」のディスクリートタイプの発売のお知らせ

アルフレッサ ホールディングス株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：渡邊新）の子会社で医薬品等製造事業を行うアルフレッサ ファーマ株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：久禮哲郎）は、東レ株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：榊原定征）が開発・製造販売するカテーテルアクセスポート「販売名：P-U セルサイトポート（承認番号：20900BZZ00772000）」のディスクリートタイプ*¹（以下「ディスクリートタイプ」）を7月28日から発売いたします。

カテーテルアクセスポートとは、薬液を体内へ注入する際に使用する皮下埋め込み式のポートとカテーテルを組み合わせた医療機器で、今回発売する「ディスクリートタイプ」は、大腸がんをはじめとする全身化学療法の中でも切除不能・転移性大腸がんの標準治療法であるFOLFFOX（フォルフォックス）*²やFOLFIRI（フォルフィリ）*³療法を外来で行う場合等にも使用される医療機器です。

大腸がんは、生活様式の変化から近年国内でも急激に患者数が増加しており、手術後の再発や、初診時において肝転移や肺転移が認められるなど、治癒しないケースも少なくありません。一方、2000年以降、切除不能・転移性大腸がんに対する新しい抗がん剤の発売によって、FOLFFOXやFOLFIRI療法が標準療法として確立され、「大腸がん治療ガイドライン」の最新版に掲載されています。

アルフレッサ ファーマ株式会社および東レ株式会社は、今回の販売提携により、外来化学療法等に取り組みされる医療関係者の方々へ優れた製品・情報を迅速かつきめ細かに提供することが可能となり、医療技術の向上とともに患者さまのQOL向上に一層貢献できるものと確信しております。

*¹「ディスクリートタイプ」:

P-U セルサイトポートの一品種で、全身化学療法に最適化したもの。

*²「FOLFFOX（フォルフォックス）」療法:

切除不能大腸癌に対する全身化学療法に使用される標準的な抗ガン剤の組み合わせの一つ。

*³「FOLFIRI（フォルフィリ）」療法:

切除不能大腸癌に対する全身化学療法に使用される標準的な抗ガン剤の組み合わせの一つ。

以上

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

アルフレッサ ホールディングス株式会社 財務企画部 広報IR室

TEL: 03-5219-5102

東レ株式会社 広報室広報課

TEL: 03-3245-5179

【本製品に関するお問い合わせ先】

アルフレッサ ファーマ株式会社 メディカルデバイス営業本部

TEL: 06-6941-0303